

平成24年度第4回青梅市行財政改革推進委員会議事概要

1 日時

平成24年11月21日（水） 午前9時00分から午前11時18分

2 場所

青梅市役所 2階 206会議室

3 出席者

[出席委員]

榎本晶夫委員長	押切重洋委員	楢島幸子委員
平楽茂委員	並木一治委員	廣金成喜委員
濱口正幸委員		

[出席青梅市職員]

竹内青梅市長以下11名

4 議事概要

(1) 市長あいさつ

(2) 委員長あいさつ

(3) 報告事項

- ・平成23年度青梅市決算の概要について 【新居財政課長説明】
- ・平成23年度青梅市行財政改革施策実施結果について 【丹野行政管理係長説明】
- ・外部評価の結果について 【柳内行政管理課長説明】

(4) その他

- ・次回委員会の開催については、平成25年4月下旬または5月初旬に開催予定。

5 主な質疑・意見等

○平成23年度青梅市決算の概要について

《質疑》

- [Q] 扶助費が歳出の約3割を占めているが、他市と比較するとどうなのか。
- [A] 青梅市の扶助費は構成比29.7%で、26市平均は26.9%。構成比がいちばん高いのは武蔵村山市の36.4%、いちばん低いのは国分寺市の18.9%。
- [Q] 青梅市の特殊性として扶助費が増える要因はあるのか。
- [A] 青梅市では保育園が民間施設であるため、扶助費の構成比が増える。
- [Q] 競艇事業の収益が大幅に上がっているが、この傾向は今後も続けられるのか。
- [A] 24年度はG I レースが1本だけなので、売上げは下がっており、経営状況は厳しい。従事員身分について組合交渉を行っている。
- [Q] 市債の利息額を知りたい。
- [A] 平成23年度の市債償還額、60億1,652万7,000円に対して、利子が11億7,859万円。
- [Q] 市債借入利率の3.5%以下の区分は、具体的に何%のものなのか。
- [A] 23年度に借り入れた市債の利率は、0.90~0.35%。

○平成23年度青梅市行財政改革施策実施結果について

《質疑》

- [Q] 日曜窓口収納金額が前年度と比較して下がっている。費用対効果を検討してもらいたい。
- [A] 今年度からコンビニ収納を始めた。この推移を見ながら、日曜窓口については、担当課や窓口サービス検討委員会の中で検討していく。
- [Q] 国民健康保険特別会計のレセプト点検は、実績を掲載してもらいたい。
- [A] 今後検討する。
- [Q] 職員提案制度が掲載されていない。
- [A] 実施結果の数値としては今まで掲載していないが、23年度は15件。
- [Q] コンビニ収納について、半年間の収納状況とコンビニ側に支払う額を知りたい。費用対効果として、収納率の向上に結び付くか検証する必要がある。
- [A] 24年5~10月までの実績は、59,201件、9億6,205万8,394円。取扱手数料は1件55円。利便性を考えると効果的だと考える。
- [Q] 協働推進員の具体的な活動内容は。
- [A] 協働事業にふさわしい事業をピックアップし、協働事業に取り組む各課の代表という役割。
- [Q] 自治会の加入促進活動に取り組んだことによって、加入は増えているのか。
- [A] 24年4月1日現在の加入率は48.97%で、前年に比較して下がっている。
- [Q] 学童保育の時間延長は、有料化するのか。
- [A] 24年4月から、有料化している。
- [Q] 市民センターでの証明書交付件数が1割に満たないが、改善案を考えているか。

- [A] 市民センターの利用について、自動交付機と合わせて、さらに周知を進めていきたい。
- [Q] 財務諸表の公表が2年遅れるのはなぜか。
- [A] 決算ができてから手作業で行うため、早く公表できるよう努力はしているが、追いついていない。
- [Q] 協働マニュアルの活用で、市民活動団体からの4件の提案は何か。
- [A] 「聴覚障害者向けSOSカード」、「これからのパパ・ママへ 楽しく子育てするために」、「青梅市ごみ減量・資源リサイクル音声ハンドブックの作成」を実施。「市庁舎にピアノを設置してのミニコンサート実施事業」については保留。
- [Q] 消防団員の確保策で団員資格を広げたとあるが、成果はあったのか。
- [A] 平成24年11月現在、635人の団員のうち市外の団員は20人。団員が増えるということはない。
- [Q] 国民健康保険と介護保険は消滅時効が2年と短い、留意しているか。
- [A] 国民健康保険、介護保険ともに徴収担当を置き、督促、催告、臨戸徴収等を積極的に行っている。

○外部評価の結果について

《質疑》

- [Q] 外部評価対象事業の給食センター経費は、9月議会の一般質問で教育長が市の見解を表明していた。外部評価をする意味があるのか。事業の差替えをするべきではなかったか。
- [A] 外部評価対象事業の選定後に、議会の一般質問があったので齟齬があった。事業の選定にあたっては、今後は十分注意し、事業選定について改善していきたい。外部評価で頂いた意見については、今後の現計画の見直しの中で十分に参考にさせていただき、大規模な改善に向けた努力をしていきたい。
- [Q] 本委員会で7月に市に提出した新青梅市行財政改革推進プランの提言において、採用試験方法の見直しと面接方法の改善について提言したが、9月議会の一般質問で、採用試験の面接については改善する考えはないと市長が明言している。この委員会の存在意義に疑問を持つ。
- [A] 一般質問では面接は当面1回と答弁を行った。提言にある、人材育成、有能な人材確保等については、十分検討していかなければならないと考えている。

○その他

《意見》

- ・大きな災害がいつ来るかもわからないのに、借金を続けていていいのか。
- ・市の防災マップは水害を想定している。地震時の対応を盛り込んでもらいたい。また、水害を想定しているのに、避難所が川の反対側に指定されているのは、論理的におかしいので、検討し直してもらいたい。